

「10年後の東京」の姿

- 世界有数の水辺の大都市である東京の特性を活かした魅力的な水辺空間が整備され、多くの人々で賑わっている。

これまでの主な取組と到達点

- ◇ 隅田川地域
 - ・水辺を散策できる隅田川テラスや堤防壁面に伝統的な錦絵等を展示するテラスギャラリーを整備
 - ・水辺を活かした広域観光マップの作成（日本語・英語）など、観光ルートの開発を支援
 - ・水辺空間を利用した民間主体のイベント等を推進するため「テラス護岸等一日利用制度」を平成15年度から開始
- ◇ 江東内部河川
 - ・小名木川を江戸情緒あふれる「塩の道」として再生（延長6kmのうち2.4km整備済み）
 - ・水位が異なる河川の通過が可能な扇橋閘門を観光資源化するためにビジター用施設を整備
- ◇ 運河
 - ・水辺を利用した水上レストランや観光棧橋の設置など地域主体による賑わいスポットを創出する取組を支援（運河ルネサンス推進地区 5地区）

改定のポイント

- 「水の都」江戸の象徴である隅田川の賑わいを取り戻し、次代に継承していく取組として、新たに「隅田川ルネサンス」を展開

3年後の到達目標

- 地域主体による四季折々のイベント等が1年を通じて開催され、水辺での賑わいが実現
- 吾妻橋周辺のテラス整備にあわせ、ベンチの設置や緑化を進め、人々が水辺でくつろげる環境を創出
- 防災用の船着場の利用を拡大し、新たな舟運ルートを開発

3か年の主要事業の展開

「水の都」江戸の賑わいを取り戻す
～隅田川ルネサンスの開始～

全国の人々が憧れ、江戸の華であった隅田川の賑わいを、現代に生まれ変わらせ、新たな水と緑の都市文化を未来につなぐ

取組を推進する官民一体となった「隅田川ルネサンス推進協議会（仮称）」を設置

- 水辺で遊ぶ
コンサートなど集客力のあるイベントの開催や、川面を臨むカフェをオープンするなど、水辺で遊べる取組を支援



納涼祭り

- 水辺でくつろぐ
川風や緑の薫りを感じながら、気軽に散策できる環境を創出
～水辺を散策できる隅田川テラス・緑化の整備、ベンチ・案内サイン等の設置～



テラス整備

- 水上を楽しむ
防災用の船着場の利用を拡大し、隅田川沿いに点在する観光スポットを舟でつなぎ多様で魅力的な舟運ルートの開発を推進

運河を活かした新たな水辺空間の創出
～運河ルネサンスの進化～

- 運河の魅力をも高める
5つの運河ルネサンス推進地区が、まちづくりと合わせて進めている賑わいの取組をつなげ、東京の運河の魅力をもっと高める

(資料提供) 東武鉄道㈱・東武タワーズライツリー㈱ TOKYO-SKYTREE

水位差を調整して舟を通過させる閘門

隅田川テラスの賑わい

浅草寺 東京スカイツリー 吾妻橋 北十間川 横十間川 扇橋閘門 小名木川 荒川ロックゲート

国技館 江戸東京博物館 回向院 芭蕉記念館 扇橋閘門 清澄庭園 現代美術館 富岡八幡宮 木場公園

日本橋川 日本橋 亀島川 築地本願寺 築地市場 浜離宮恩賜庭園 旧芝離宮恩賜庭園 トリシスクエア 晴海客船ターミナル 豊洲 朝潮 東雲 辰巳運河 荒川運河 高津運河 王洲アイル 品川浦・天王洲 勝島・浜川・鮫洲 お台場

江戸情緒あふれる「塩の道」の再生

小名木川の整備

運河ルネサンスによる賑わいを支援
～水とまちが融合する新たな水辺空間の創出～

運河クルーズ（芝浦運河まつりのイベント）

船着場や係留施設イメージ

● 観光スポット ● 橋
○ 運河ルネサンス推進地区